

学校評価のねらい

- ・学校教育目標の具現化に向けて共通理解を図ると共に、教職員一人一人が自校の教育課題等の現状を把握し、解決に向けて共通実践するため。
- ・学校、保護者、地域が子どもの課題を共有することで互いの責任を自覚し、それぞれの役割を果たすことに生かす。

評価の検討と実施		学校運営協議会 学校評議員の会	公表の時期と方法
中間評価	4	○教育指導計画の作成 ○「自己目標申告書」の作成 ○参観・学級懇談会の実施	○ホームページで今年度の学校経営方針と昨年度分の学校評価結果を掲載
	5	○学校評価の充実に向けた計画・評価項目の検討	
	6	○休日参観 保護者アンケート	○第1回学校運営協議会の実施 ・学校教育方針の説明 ・評価項目の検討
	7	○地域・児童・保護者による学校評価アンケート前期分の実施 ○自己評価の実施 ○個人懇談会	
	8	○学校評価アンケートの結果分析 ○今後の方針の検討	○学校運営協議会ヒアリング ・取組の現状について意見聴取
	9	○後期の方針の検討 ○スポーツデー（感想集約）	○学校だより、ホームページで結果と考察、今後の方針を公表（前期分）
	10		
	11	○人権（ふれあい）参観・懇談会	
	12	○研究発表会参加者アンケートの実施 ○後期評価の検討 ○個人懇談会（希望制）	
年間評価	1	○地域・児童・保護者による学校評価アンケート後期分の実施 ○自己評価の実施 ○自由参観日	
	2	○学校評価アンケートの結果分析 ○参観・学級懇談会 ○今年度の成果と課題の検討	○第2回学校運営協議会の実施 ・取組の現状報告と意見交流
	3	○次年度への共通理解	○学校だより、ホームページで結果と考察、今後の方針を公表（後期分）